

第2回 磐田市廃棄物減量化等推進審議会

日時：平成30年11月16日（金）午前10時～

会場：磐田市クリーンセンター2階研修室

次 第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

- ① 平成31年度一般廃棄物処理実施計画（案）について
- ② 平成31年度ごみの排出削減に向けた取り組み（案）について

4. 報告

- ・家庭ごみ収集エリアの再編について

5. 閉会

平成 31 年度一般廃棄物処理実施計画(案) 一部抜粋

平成 31 年度一般廃棄物処理実施計画(案) 一部抜粋

5 一般廃棄物の排出抑制のための方策に関する事項

(1) 市が講ずべき方策

ア 磐田市廃棄物減量化等推進審議会

- ① 一般廃棄物の減量化、資源化及び適正処理の推進に関する事項その他必要な事項について審議する。

イ ごみの減量・リサイクルの推進

- ① 家庭から排出されるごみを減量しリサイクルを推進させるために、以下の取組みを実施する。

取組名	具体的な内容
資源ごみの拠点回収・BOX回収の実施	リサイクルステーションで資源ごみを回収するほか、古紙の拠点回収、パソコン・携帯電話等のBOX回収を実施する。
雑がみの資源化	施設見学において雑がみ回収袋を配付し、分別・リサイクルの意識啓発を行うことで、雑がみの資源化を促進する。
剪定枝の資源化	剪定作業で発生する樹木をチップ化し、資源化を推進する。
レジ袋の削減	レジ袋削減のための買い物袋持参キャンペーン等の実施によるマイバック持参の啓発を行うほか、市民団体・事業者・行政が協働してレジ袋の有料化を推進する。市内小売店舗へレジ袋削減等の啓発表示の依頼を行う。
ごみ減量・リサイクル活動の支援	資源集団回収の奨励や生ごみ堆肥化容器設置費用の助成を行い、家庭から排出されるごみの減量・リサイクルを推進する。 3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動を行う団体の活動を支援することにより、3Rの推進と市民の意識を醸成する。
分別ルールの周知	ガイドブック（平成 31 年度改訂）やカレンダー、ごみ分別アプリ等により分別の理由及び目的を市民へ広報することで共通意識を醸成し、より一層のごみ減量・リサイクルを推進する。
外国人への啓発	分別アプリや外国語版ガイドブック（平成 31 年度改訂）等を活用して、ごみの出し方を周知する。
ごみ減量・リサイクル意識啓発	施設見学を実施し、ごみの減量やリサイクルの必要性について啓発する。また、軽トラ市等のイベントやブースに出展し、市民のごみに関する意識の向上を図り、より一層のごみ減量・リサイクルを推進する。
情報発信	広報いわたやホームページ、分別アプリ等を通じて、ごみの減量やリサイクルに関する情報を随時発信する。

ウ ごみの適正処理

- ① 発生するごみの量をできるだけ抑え、再使用、再生利用に取り組んだ上で、さらに排出されるごみについて、より適正に収集し、処理するためのルールづくりを進める。
- ② 磐田市クリーンセンターでの搬入物検査を実施し、搬入される事業系一般廃棄物の可燃ごみからの紙類・古着の資源化を進めるとともに、排出事業者や収集運搬許可業者に対し可燃ごみへ産業廃棄物が混入されないよう指導を行う。

(2) 市民が講ずべき方策

ア 市が示すごみ出しのルールを遵守し、自治会等が管理しているごみ集積所へ収集日の朝 8 時までに排出するものとする。

イ 市民は廃棄物の排出削減に努め、再生品の使用等により再利用を図り、再生できるごみは原則、資源ごみとして分別し、廃棄物の減量や適正な処理に関して市の施策に協力するために、以下のことに努めるものとする。

食品ロスの削減	食材の買い過ぎを防ぎ、食材を使いきる、食べきることで食品ロスの削減に努める。
生ごみの水切り	生ごみを排出する時はひとしぼりするなど、水分を切るための策を講じることで可燃ごみの削減に努める。
マイバックの持参	レジ袋や紙袋を断ることで、ごみの排出抑制に努める。
簡易包装や詰め替え品の活用	簡易包装商品や詰め替え用商品、リターナブル容器入り商品を選択することで、ごみの排出抑制に努める。
古紙等の資源化	家庭から排出される古紙（新聞・雑誌・雑紙・段ボール等）は自治会等で実施する資源回収や回収ステーション等へ排出することで、資源化に努める。
情報収集	ガイドブックやカレンダー、分別アプリ等で、市から発信される情報を利用し、適正な排出に努める。

(3) 事業者が講ずべき方策

ア 事業系廃棄物の発生を抑制し、再利用を図り、再生できるごみは原則、資源ごみとして分別し、事業系廃棄物の減量及び適正な処理に関して市の施策に協力する。

イ 事業者は、排出者責任、拡大生産者責任を自覚し、事業活動に伴って生じるごみを自らの責任において適正に処理し、使い捨て商品・容器の販売の自粛や包装の簡素化等に努めるものとする。

ウ 再生品の原材料としての利用の促進及び回収体制の整備等、資源化への取り組みを推進するものとする。

◆レジ袋削減表示プレートの設置依頼

レジ袋削減に向けた啓発

- ・レジ袋削減表示プレートの作成（約 140 個）
- ・セブンイレブン（28 店舗）、商店会連盟加盟店（58 店舗）に設置を依頼した。



◆市役所本庁舎 1F 展示ブースの活用

可燃ごみの減量・リサイクルの必要性について市民への意識啓発

展示期間 8月1日（水）～9月19日（水）

- ・可燃ごみ組成調査の結果を踏まえて、可燃ごみの減量（食品ロス削減、雑がみの資源化、プラスチック製容器包装の資源化）について啓発を行った。



◆あなたが家族のエコ・リーダー教室開催

可燃ごみの減量とリサイクル意識の向上を図るため、ごみの削減体験教室を開催

日 時：8月17日（金）、18日（土）9時～11時30分

場 所：磐田市クリーンセンター

参加者：12組 32名（子ども20名、保護者12名）

内 容：家庭で集めた雑がみを使ったカード作り体験
マイバッグづくり

家族で一緒にごみ減量の取り組みを宣言



◆ごみ減量・リサイクル標語コンテストの実施

ごみ減量・リサイクル標語の募集と啓発への活用

対象者：小学4年生（市内22校）

募 集：クリーンセンターの施設見学时

選 考：委員等による選考

表彰等：優秀賞2点（表彰状の贈呈）

※入選作品は、ごみカレンダーや分別ガイドブック等へ掲載し、ごみ減量の啓発活動に活用する。

【例】 りさいくる くるくるくる りさいくる
それはごみ？まだつかえるよ すてないで
すてないで 大事な大事な そのしげん

◆3R推進月間における普及啓発活動の実施

レジ袋の削減に向けてマイバッグの持参の呼びかけを実施

日 時：10月29日（月）10:00～11:00

場 所：アピタ磐田店ほか5店舗

実施者：いわた消費者協会

内 容：マイバック利用の呼びかけ、啓発グッズの配付



「レジ袋削減表示プレートの設置依頼」
平成30年8月25日（静岡新聞）

（第三種郵便物認可）

磐田市 レジ袋削減啓発プレート

磐田市は24日、市内店舗と連携し、市製作の啓発プレートを使ったレジ袋削減活動を開始した。第一弾としてコンビニエンスストアにプレートを置き、市民に「ごみ減量化への協力を求める」。

コンビニ28店に設置

人気の同市イメーシキヤラクター「しゅべい」を模り、横長のプレートにデザインした「おちよつとまって！ そのレジ袋必要ですか？」と呼び掛ける。市と包括連携協定を締結したセブンイレブン・ジャパン（東京都）の協力を得て、8月末までに市内の同社28店舗に設置する。同社の磐田前野店では24日、レジ機の脇にプレートを置いて「買い物を迎えた。店員は買う商品が少ないお客さんには、レジ袋が必要かどうかを直接聞いている。このようなプレートがあると助かる」と効果に期待した。

市はプレート140枚を製作済みで、スーパーマーケットや商店街の小売店などにも設置を依頼する方針。140店が協力した場合、1店が1日10袋削減すると年間ですべて約50万袋の削減につながるという。市は「ごみ対策課は、ポスターを張るよりも、レジにプレートを置く方が啓発効果が高いと考えた。今後はマイバッグの携行など啓発の内容を広げたい」と意欲を示す。（磐田支局・高松勝）

レジ袋に設置されたレジ袋削減の啓発プレート。磐田市のセブンイレブン磐田前野店。

ごみ削減、マイバッグ作り

環境を考える 磐田で児童教室

子どもたちに家庭「ごみ」の削減や環境について考えてもらう磐田市のエコ体験教室が十七日、同市クリーンセンターであった。希望した市内の児童ら十五人が、「ごみの削減やリサイクルの方法を学んだ」。

児童たちは、市職員から市の「ごみ」の排出量や処理状況の説明を受けた後、紙のリサイクルを学ぶ紙すきを体験。各家庭から持ち寄ったお菓子の空き箱などを細かくちぎり、水とお氣に入りの色の絵の具を混ぜてオリジナルのマイバッグを作る児童たち。磐田市クリーンセンターで。

「あなたが家族のエコ・リーダー教室」
平成30年8月18日（中日新聞）

キサーでとろとろの状態にした後、はがきサイズに伸ばして乾かし、写真を飾る台紙を作った。

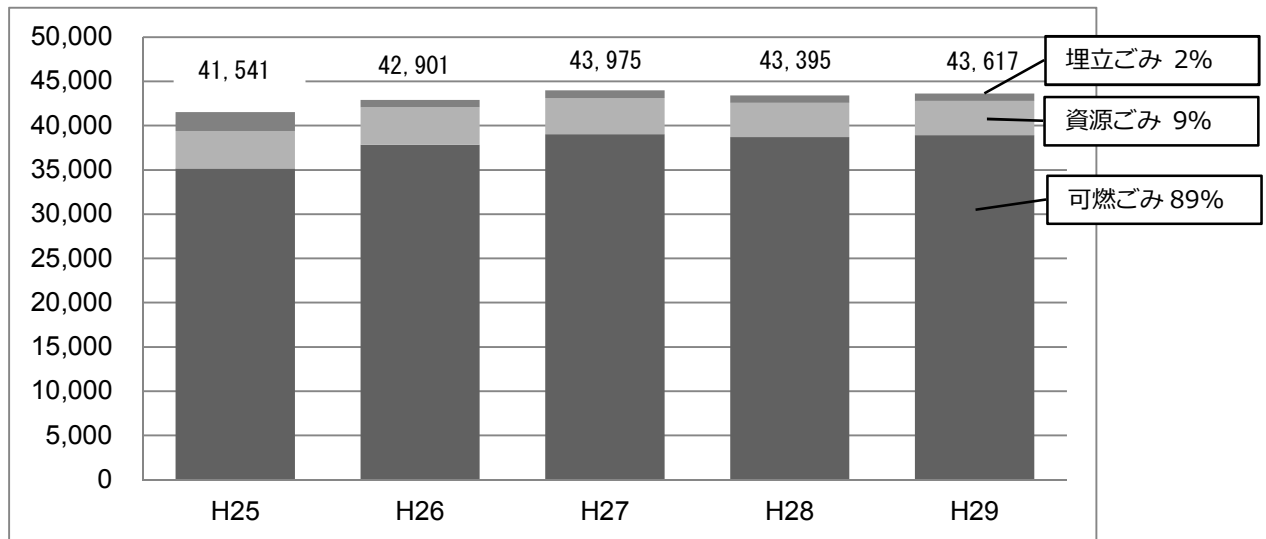
レジ袋を削減するため、マイバッグ作りも行った。市のイメーシキヤラクター「しゅべい」のバッグに、カラフルに色付けしたり、イラストを描いたりしてオリジナルバッグを完成させた。

今後、児童たちには各家庭で「ごみ」の減量化や省エネのリーダーとして活動してもらおう。同級生五人と参加した福田小六年の鈴木佑那さんは「家族で「ごみ」をちゃんと分別したり、電気を小まめに消したりして、地球に優しくなりたい」と話していた。（夏目貴史）

ごみ排出状況について

◆ごみ総排出量の推移

単位：t

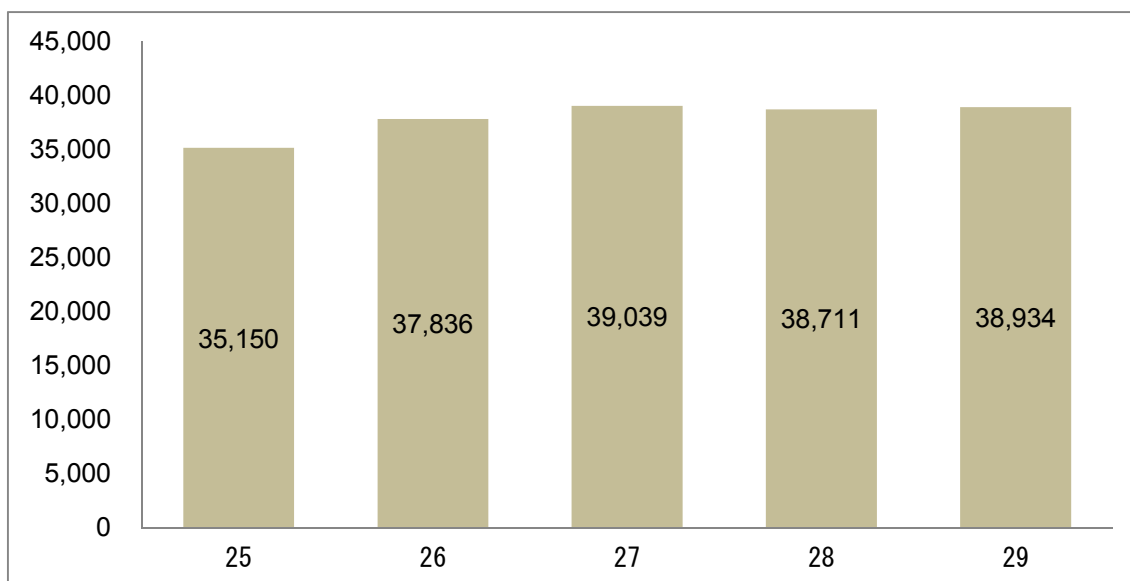


単位：t

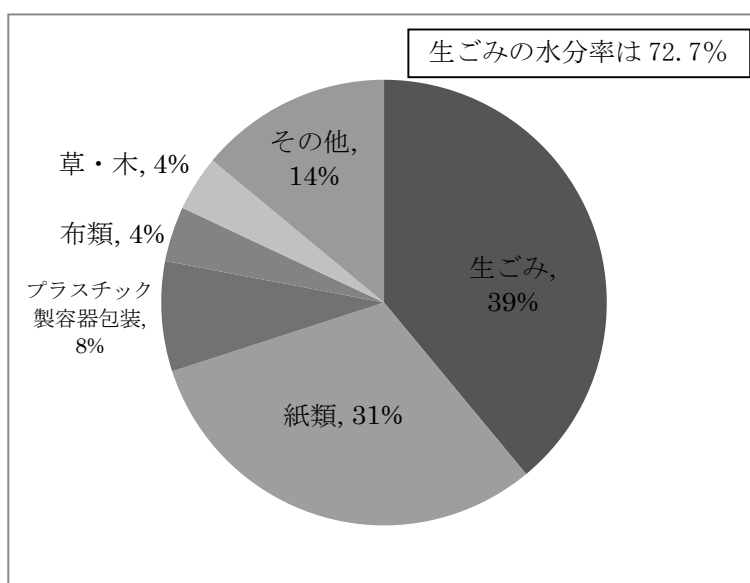
	H25	H26	H27	H28	H29	
総排出量	41,541	42,901	43,975	43,395	43,617	
可燃ごみ	35,150	37,836	39,039	38,711	38,934	
資源ごみ	空き缶	225	226	211	197	197
	空きびん	786	771	776	745	736
	ペットボトル	194	185	175	171	169
	プラスチック製 容器包装	2,236	1,959	1,847	1,742	1,622
	金物	495	784	775	724	846
	有害ごみ	61	60	58	58	59
	古紙等	244	240	248	211	227
埋立ごみ	2,151	840	845	836	827	

◆可燃ごみ排出量の推移

単位：t



◆可燃ごみの内訳(H29 組成調査結果)



未開封食品



リサイクルできる紙類

◆ごみ排出状況

・ごみ総排出量の約9割を占める可燃ごみには、生ごみの水分と紙類の割合が高い。

⇒可燃ごみの削減には「水分」と「紙類」の削減が鍵

・未開封食品は生ごみの約4%含まれている。

⇒生ごみ自体の削減も課題

平成 31 年度主な取り組み（案）

◆食品ロス削減

広報いわたやホームページ等での啓発
(エコレシピの紹介、冷蔵庫整理の提案等)

◆雑がみ再資源化の推進

雑がみ回収袋配付（継続）

- ・クリーンセンターを施設見学する小学 4 年生を対象に配付予定
- ・雑がみのリサイクル及び排出方法等の周知



◆不要なレジ袋の削減

レジ袋削減表示プレートの設置依頼（継続）

- ・コンビニエンスストアやドラッグストア等への設置依頼



◆ごみ排出環境の充実

リサイクルステーション回収品目の追加

- ・使用済使い捨てライターの回収

【現在の回収品目】

空き缶・空きびん・ペットボトル・廃食用油、プラスチック製容器包装
蛍光管、乾電池、古紙（新聞、雑誌、雑がみ、ダンボール）、古着類

◆イベント出展等による啓発

講座・施設見学会・エコ教室・イベント出展による啓発

- ・産業大学学園祭等への出展
- ・エコ・リサイクル教室の実施
- ・3R推進月間普及啓発活動の実施



◆ごみ分別ガイドブックの改訂

自己搬入先変更等の情報を周知し、分別やリサイクルの必要性への理解を深める
ガイドブック：平成 32 年全戸配布予定（80,500 部）

日本語版、ポルトガル語・英語版、
ベトナム語版

